



松倉 克仁

蔵の街動物医療センター院長  
獣医学博士



長谷川 大輔

日本獣医生命科学大学獣医学部  
准教授



和田 昌絵

株式会社ORM  
神経病・読影センター

# 実践！神経科診療

## 3人のスペシャリストが伝える診療の進め方

本シリーズでは日常の診療の中で遭遇する“様々な神経疾患に対する実践的な診断と治療”をテーマとして、1次診療・2次診療を含めて神経疾患者の診断の仕方や治療方針の立て方、実際の治療について4回シリーズのセミナーを企画した。

1回目は私長谷川から神経学的検査を中心に診断の進め方の概略を。2回目は栃木の蔵の街動物医療センターの松倉先生から1次診療における神経症例の解説を。3回目は株式会社ORM神経病・読影センターの和田先生からCTやMRIの画像診断の実際について。4回目は私と和田先生で実際の症例（我々の症例と聴講者の症例）を基に診断や治療の進め方について解説したいと考えている。

長谷川 大輔

第1回 2017  
**2/22** 水 19:00~21:30  
解説 長谷川 大輔

テーマ 神経病患者の診方  
～情報と第1印象から適切な診断法の選び方～

私が神経科の診療の中で最も大事にしているのはHands-off検査ともよばれる「観察」、すなわち第1印象とシグナルメント、病歴、病態の過程といった情報である。前者からは病変部位が後者からは鑑別診断リストが推定される。そしてより正確な診断に必要な診断的法を選択する。

第2回 2017  
**3/22** 水 19:00~21:30  
解説 松倉 克仁

テーマ 一次診療における神経疾患の扱い方

一次診療の現場において神経疾患は難敵である。神経疾患であろうことは認識できても、症状や院内検査だけで確定診断が困難なことも多い。今回は一次診療で日常的に遭遇する疾患を例に挙げ、基本に忠実に診断までのプロセスをたどってみたい。また、治療開始後に担当医が悩む事案もあげて対処を考えていきたい。

第3回 2017  
**4/12** 水 19:00~21:30  
解説 和田 昌絵

テーマ 神経疾患の画像診断の実際

画像検査を行えば、全ての疾患が分かると思われている先生は多いと思いま。しかし神経疾患の画像診断に関しては、とりあえず画像だけ撮れば疾患が分かるというものではないことを実際の症例と併せて解説します。

第4回 2017  
**5/17** 水 19:00~21:30  
解説 長谷川 大輔/和田 昌絵

テーマ 実践！神経科診療－診断から治療まで－

前3回のセミナーを踏まえ、最終回は幾つかの症例を持ち寄り、主訴、診察、2次病院での診断、治療の選択、そして治療とオーナーへの対応・指導も含め、長谷川と和田、そして聴講者参加型のディスカッション・スタイルで症例検討を行う。

### 会場

株式会社Life&Tail セミナールーム  
東京都千代田区内神田1-2-6 産広美ビル6F



### アクセス

地下鉄「大手町駅」C1出口より徒歩約3分  
JR「神田駅」西口より徒歩約8分

定員 30名

参加費 44,000円/人 (全4回)

主催 株式会社Life&Tail

復習用動画配信 あり

有料WEB配信 あり 2017年秋配信予定

有料WEB配信について  
弊社のWebセミナーは当開催の講義映像となります。内容（質疑応答や症例など）を一部カットして配信します。予めご了承の上お申しあげください。